

空間演出デザイン

環境デザイン学科 空間演出デザインコース

TW テキスト作品科目

TX テキスト特別科目

S スクーリング科目

必 必修科目

選必 選択必修科目

選 選択科目

※下記でご紹介する科目は2026年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

空間演出デザインコース専門教育科目

STEP①

デザインの基礎力を習得し、デザインの楽しさ・魅力を発見する。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
1年次						
空間演出デザイン概論	スターター (空間演出デザイン入門)	S	選	1		コースの学習を効果的に進めるために、デザイン初学者に向けたオリエンテーションを行い、課題に触れながら各種道具の基本的な使用方法やこれから学ぶ学習領域について理解を深める。
デザイン基礎1 (空間演出デザイン)	二次元ドリル	TW	必	2		全てのデザインを学ぶにおいて、まず習得すべきとなる二次元表現について複数の演習問題を通して学習。空間や三次元表現への基礎を培う。
デザイン基礎2 (空間演出デザイン)	空間ファイル	TW	必	2		フィールドワークを通じて日常生活を取り囲むさまざまな建築・都市空間の実例からその構成要素を再発見し、編集することで、デザインをするためのさまざまな設計手法、アイデア抽出法を学ぶ。
空間演出デザイン演習 I-1	三次元ドリル	TW	必	2		さまざまなスケール感における立体構成を理論的側面と感性的側面の双方から捉えながらモデル制作を中心とした演習によって、基本的な三次元的設計手法や表現方法を学ぶ。
空間演出デザイン演習 I-2	デザインファイル	TW	必	2		暮らしの中にあるさまざまなデザインの観察、記録を通して、生活空間の中におけるデザインの存在意義やその構成原理を学ぶ。
空間演出デザイン I-1	デザインリテラシー	S	必	1		デザインを学ぶ上で不可欠なデザインの存在意義(理由)や系譜(歴史)への理解を深めるとともに、デザインのもたらす豊かさや楽しさ・魅力について、体験を通して学ぶ。
空間演出デザイン I-2	ドラフティング	S	必	1		手描きによる製図を通して、構想した空間やモノを他者へ伝えるために不可欠となる基本的図法や表現力を学ぶ。
空間演出デザイン I-3	モデル・メイキング	S	必	1		空間や立体物の表現に必要となる模型制作のための道具や材料の使い方、模型の作り方を基礎から学習する。
空間演出デザイン II-1	デジタル表現基礎	S	必	1		ソフトウェア「Photoshop」、「Illustrator」の使用を通じてコンピュータリテラシーを身に付ける。文字組、色彩基礎、レイアウト構成、写真加工の基礎を学ぶ。
空間演出デザイン II-2	造形表現基礎	S	必	1		立体デザインの基礎要素である「点・線・面」と加工の基礎技法である「切る・折る・曲げる」を用いて造形表現の基礎を習得する。
空間演出デザイン II-3	CAD表現基礎2D	S	必	1		CADソフトウェア「AutoCAD」の特性を理解した上で、各種図面の二次元での作図、表現の基礎技法を習得する。

STEP②

空間をデザインする手法と考え方を学ぶ。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
2年次						
空間演出デザイン基礎1	空間ドリル	TW	必	2		建築やインテリア空間の図面表現の種類やルールを複数の演習問題を通して理解するとともに、空間設計提案に有効となるプレゼンテーション手法を学ぶ。
空間演出デザイン基礎2	ローカルデザイン	TW	必	2		自分の住む町で取り扱われている農産物を広く流通、販売するためのパッケージデザインを企画することで「調査・分析」「発想」「企画」「制作」というデザインのプロセスを学ぶ。
空間演出デザイン演習Ⅱ-1	すまいのリノベーション	TW	必	2		与えられたスケルトンの空間において「すまい」をテーマにした空間構想を行う。人の行動と空間の関係性を考察するとともに、リノベーションという既存空間の活用法を学ぶ。
空間演出デザイン演習Ⅱ-2	小さなショップ	TW	必	2		与えられた設計条件に基づいて小さなショップの空間構想を行い、設計提案書の作成を通じて、形態や機能はもちろんのこと、材料や工法、構造といった小規模建築の構成原理を学ぶ。
空間演出デザインⅢ-1	空間構想・エスキス	S	必	1		展示施設(ギャラリー)をテーマに、ドローイングや模型制作を通じて、エスキスから形へ導く空間スタディのプロセスを重点的にインテリアデザインを学ぶ。
空間演出デザインⅢ-2	空間構想・デザインプロセス	S	必	1		インテリア計画におけるデザインに至るまでのプロセスの演習をユーザーの生活スタイルを読み取りながら行い、「デザインの理由」についての思考を深める。
空間演出デザインⅢ-3	空間構想・実空間の想像と創造	S	必	1		実物スケールの課題制作を通じて空間デザインのためのヒントを発見し、設計や計画における身体感覚、基礎的造形力、環境洞察力を養う。
空間演出デザインⅣ-1	メディア表現と空間演出	S	必	1		光や音を含むさまざまなメディア表現を利用した空間演出の方法について、実験的演習を通してその活用の可能性を見出すとともに、自らの感覚、理論の両面側からの理解を深める。
空間演出デザインⅣ-2	素材表現とデザイン	S	必	1		身近な素材の新たな特性を見出し、その魅力を素材表現として開発するとともに、機能的用途を持ったプロダクトデザインへの応用を通じて、素材表現とデザインの関係について理解を深める。
空間演出デザインⅣ-3	CAD表現基礎3D	S	必	1		3Dモデル作成ソフトウェア「Sketch UP」の基礎技法を習得した上で、インテリア空間をシミュレーションし、ボリューム操作を用いた空間構想の方法を学ぶ。

STEP③

空間と様々な領域の関係性を探り、デザインの活用法を学ぶ。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
3年次						
空間演出デザイン演習Ⅲ-1	五感の空間デザイン	TW	必	2		商業施設のインテリアもしくは住空間におけるインテリアプロダクトのいざれかを、触覚、視覚など身体感覚の空間に与える影響を考察しながら五感に訴えかけるデザインとして提供する方法を学ぶ。
空間演出デザイン演習Ⅲ-2	おもてなしのデザイン	TW	必	2		空間(場)づくり、モノづくり、コトづくりの3つの視座から選択し、未来のライフスタイルを創出するデザイン提案を作成する。ヒトとヒト、ヒトとモノの関係を「おもてなし」をキーワードにデザインする方法を学ぶ。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
空間演出デザイン V-1	すまいの空間構想	S	選必 (6単位)	1		1、2年次で習得した思考法と基本的技術を活用し、新たな生活シーンを創造するデザインの可能性を追求する。各自の目指すデザイン領域に合わせて10科目の中から6科目を選択して履修し、6つの実践を交えながら専門的デザインを学ぶことで使えるデザイン力を身につける。
空間演出デザイン V-2	ショップデザイン	S		1		
空間演出デザイン V-3	ライティングデザイン	S		1		
空間演出デザイン V-4	エキシビジョンデザイン	S		1		
空間演出デザイン V-5	デザインマネジメント	S		1		
空間演出デザイン V-6	空間体験のデザイン	S		1		
空間演出デザイン V-7	伝統とプロダクトデザイン	S		1		
空間演出デザイン V-8	コンテンポラリー・ジュエリー	S		1		
空間演出デザイン V-9	コンパクトデザイン	S		1		
空間演出デザイン V-10	あかりのデザイン	S		1		

STEP④

それぞれのおもてなしのデザインを表現し他者へ伝える。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
4年次						
空間演出デザイン 演習 IV	卒業制作研究ノート／ ファイナルプレゼンテーション	TX	必	4		卒業制作で必要となる課題に対する提案のプロセスを習得する。自身の卒業制作の企画や設計内容を社会へ向けた普遍性を持つ提案としてプレゼンテーションをまとめる。
卒業制作		S	必	6		これまでの学習をもとに空間演出デザインのキーワードである「おもてなし」を解釈し、自身でテーマを設定し卒業制作を行う。柔軟な思考と多彩な発想で社会に向けた新しい提案として完成させる。

環境デザイン学科

 テキストレポート科目  選択科目

※下記でご紹介する科目は2026年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

環境デザイン学科専門教育科目

環境デザイン学科では、コースの枠を越えて自由に選択することのできる科目群があります。

※各コースの必修科目もあります。

科目名	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
都市概論		 ※	2	有	都市は個々の建築の集積であり、個々の建築は都市を前提条件として立ち上がる。建築はつくれるもの(完全に制御し得るもの)であり、都市はできていくもの(完全に制御し得ないもの)もある。いずれにしても建築と都市とは密接な関係にあるが、この授業では、都市の側から建築を観察し、建築のこれまでの成り立ち、これからの可能性について考察する。 ※建築デザインコース必修
住宅概論		 ※	2	有	湿潤多雨、高温、残雪など気候への対応、地震への技術的対応、芸術の導入や社会・制度の変化における住宅様式の転用や変容など、第二次世界大戦後のいわゆる戦後小住宅の時代にまで綿々とつながる日本住宅の工夫と変遷を学ぶ。 ※建築デザインコース必修
建築史1(近代)		 ※	2	有	科学技術や抽象芸術の発展といった社会や文化の大きな変化が、建築にどのような影響をもたらしたか、逆に建築の大きな変化が社会や文化にどのような影響をもたらしたか、について学ぶ。また近代では、建築家が次々に新しい理念や具体的なあり方を示し、大きな役割を果たすようになった。その建築家の動向と作品の特徴を学ぶ。 ※建築デザインコース必修
建築史2(西洋)		 ※	2	有	ヨーロッパの建築の時代様式をガイドとして、古代ギリシャから19世紀までを概観する。各時代様式の特質・理論、代表的建築・建築家とそれらの変遷の過程を学ぶ。 ※建築デザインコース「建築史2」または「建築史3」を選択必修
建築史3(日本)		 ※	2	有	日本の建築と都市の歴史を通して、伝統的建築に親しみながら広く知識を得るとともに、日本列島において建築・都市がどのように成立し、時代とともに如何なる空間的・時間的変容を遂げたのかを学ぶ。 ※建築デザインコース「建築史2」または「建築史3」を選択必修
建築環境工学		 ※	2	有	建築物の光環境、日射環境、空気環境、環境音環境、熱環境、湿気環境などの基本事項を確実に理解し、建築における環境工学の課題や重要性を学ぶ。 ※建築デザインコース必修 ※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方は選択必修
建築設備		 ※	2	有	建築設備に関する基礎的な原理や技術を理解し身につける。電気設備、衛生設備、空調設備の基本システムを習得し、照明・衛生器具・空調負荷の基礎を学ぶ。 ※建築デザインコース必修 ※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方は選択必修
建築材料		 ※	2	有	建物がどのような材料で形づくられていて、それがどのような現象と背景を併せもつかを理解する。また、現存する建物から創意工夫や試行錯誤の歴史を読みとり、想像することを通じて未来的な建物をつくりだす力を養う。 ※建築デザインコース必修
建築生産		 ※	2	有	企画、設計、施工、保全から構成される建築生産プロセスを対象にして、その活動を構成する主体(人や組織)とその役割について学ぶ。 ※建築デザインコース必修 ※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方、受験資格を取得する方は必修

科目名	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
建築法規	◆	選※	2	有	<p>建築家は、プロジェクト・マネージャーとしての設計全般について把握しながら計画をまとめていくことが求められる。これらの設計をまとめるにあたり、建築基準法及びその関連法令がどのような形で影響を及ぼしているかについて学ぶ。</p> <p>※建築デザインコース必修</p> <p>※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方、受験資格を取得する方は必修</p>
構造力学1	◆	選※	各2	有	<p>力の基礎や力のつりあいを理解し、静定梁やトラスなどの構成部材に力が作用した場合に生じる断面力や応力度、変形などを算定するための基礎知識を学ぶ。</p> <p>※建築デザインコース必修</p> <p>※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方は必修、受験資格のみを取得する方はいずれかを選択必修</p>
構造力学2	◆	選※	各2	有	<p>力の基礎や力のつりあいを理解し、静定梁やトラスなどの構成部材に力が作用した場合に生じる断面力や応力度、変形などを算定するための基礎知識を学ぶ。</p> <p>※建築デザインコース必修</p> <p>※空間演出デザインコースで二級建築士免許登録資格を取得する方は必修、受験資格のみを取得する方はいずれかを選択必修</p>
造園史1(日本)	◆	選※	各2	有	<p>庭園の歴史を洋の東西にわたって概観し、日本庭園の時代別様式や西洋庭園の作庭された国ごとの立地と時代ごとの様式の成立などについて論じる。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
造園史2(西洋)	◆	選※	各2	有	<p>庭園の歴史を洋の東西にわたって概観し、日本庭園の時代別様式や西洋庭園の作庭された国ごとの立地と時代ごとの様式の成立などについて論じる。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
環境の保全と計画1	◆	選※	各2	有	<p>各地で展開される環境保全の事例を調査・分析し、取り組みに対する特徴や問題点を考察し、環境保全の進め方について学ぶ。また造園家として知っておくべき自然及び人文・社会環境について学ぶ。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
環境の保全と計画2	◆	選※	各2	有	<p>各地で展開される環境保全の事例を調査・分析し、取り組みに対する特徴や問題点を考察し、環境保全の進め方について学ぶ。また造園家として知っておくべき自然及び人文・社会環境について学ぶ。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
ランドスケープデザイン原論1	◆	選※	各2	有	<p>芸術としてのランドスケープデザインを目指すにあたって、造園家としての基本的な姿勢=心構えを自らの内に確立するために、伝統的日本庭園をはじめとした様々な造園空間が有する自然の有り様や審美性を通して自らの自然観や美意識を醸成し、ランドスケープデザインにおける創造の糧とする。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
ランドスケープデザイン原論2	◆	選※	各2	有	<p>芸術としてのランドスケープデザインを目指すにあたって、造園家としての基本的な姿勢=心構えを自らの内に確立するために、伝統的日本庭園をはじめとした様々な造園空間が有する自然の有り様や審美性を通して自らの自然観や美意識を醸成し、ランドスケープデザインにおける創造の糧とする。</p> <p>※ランドスケープデザインコース必修</p>
マーケティング概論	◆	選※	2	有	<p>企業のあらゆる活動に関連しているマーケット発想の基礎知識を学び、実際のマーケティングの流れや狙いを具体的に探ることで、各要素を理解する。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
プランディングデザイン論	◆	選※	2	有	<p>多様化する消費者の行動の中には、輝きを放つ商品を創造し、その価値を発信し続ける企業のプランディングデザインについて実例を通して学ぶ。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
インテリア計画論1	◆	選※	各2	有	<p>インテリアの概念の発生からその変遷と確立までを検証した後、インテリア計画のプロセスを把握した上で、空間の構造、構法からインテリア空間の構成要素とその組み合わせまでを理解する。各空間における機能とインテリア計画上の要点について学び、今後の計画、設計への活用可能な知識の習得を目的とする。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
インテリア計画論2	◆	選※	各2	有	<p>インテリアの概念の発生からその変遷と確立までを検証した後、インテリア計画のプロセスを把握した上で、空間の構造、構法からインテリア空間の構成要素とその組み合わせまでを理解する。各空間における機能とインテリア計画上の要点について学び、今後の計画、設計への活用可能な知識の習得を目的とする。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
空間構成材料	◆	選※	2	有	<p>建築を構成する建築構造躯体として利用される構造材料と、建築の内部、外部を彩る内外装材について、その素材特質や安全性、さらには五感に関わる色彩やテクスチャなどの快適性などのそれぞれの特性を把握し、空間構成に使用される材料について学ぶ。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>
生活空間デザイン史	◆	選※	2	有	<p>住居空間を中心とした空間デザイン及びデザイン思想の変容について理解し、空間デザインに関わる諸現象、諸概念を基礎的な事柄から学び、設計活動に役立つ知識、教養を身につける。</p> <p>※空間演出デザインコース必修</p>